

長土堀こども園②

<p>テーマ 及び目的</p>	<p>いろいろな野菜を知り、興味を持って見たり触れたりする。 給食の食材に興味を持ち楽しんで食べる。</p>
<p>対象及び 参加人数</p>	<p>主に 2 歳～5 歳児 73 名</p>
<p>実施日</p>	<p>平成 29 年 5 月～現在に至る</p>
<p>実施主体</p>	<p>長土堀こども園</p>
<p>会 場</p>	<p>長土堀こども園 玄関ホールの展示コーナー</p>
<p>スタッフ</p>	<p>栄養士 2 名・調理師 1 名・保育教諭</p>
<p>内 容 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明日の給食材料の野菜を、前日の午後に展示する。 ・ 野菜を見たり触れたりして興味を持ち話し合う。 ・ 食材図鑑や、その野菜に関する絵本を一緒に紹介する。 ・ 給食を食べる時、入っている野菜や他の材料について話し合い食べる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p>成 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜を丸ごと展示することで、野菜に関する興味もてた。 ・ 見たり触れたりすることで給食献立や中に入っている野菜にも興味を持つことができた。調理した状態との違いに不思議さを感じる子もいた。 ・ 迎えに来た保護者と一緒に野菜を見て話し合い、家の献立についても話題になることがあった。
<p>今後の課題 感想等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段、子どもたちは生の野菜を丸ごと見たり触れたりする機会は少ないと感じる。展示コーナーで見たり触れたりしたことが、野菜への興味に繋がり、食に対する関心もでてきたようである。食材がどのようなものか見たり触れたりする機会があることで、親しみを持ち安心して口に作るきっかけにもなると思われる。玄関ホールという展示場所で展示したことにより、親子で一緒に野菜を見たり触れたり、図鑑や絵本を見たりして、食について話す機会となった。この頃、外食化や、簡便化、野菜の摂取不足等が心配される家庭の食への良い刺激になればと考える。